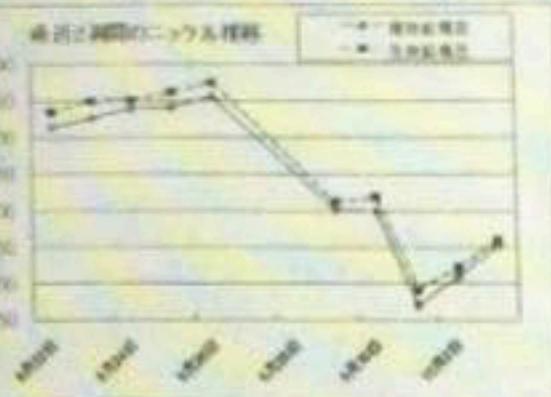


アルミニウムは反発も、ドル高で上値重く
LMEアルミニウム相場は10ドル高の1,379.5ドル



と反発。堅調な米雇用統計で上昇も、上値は重かった。

LMEアルミニウム相場は120ドル安の2,045ドル、北米特種アルミニウム相場は10ドル安の2,150ドル。

ニッケルは上昇も、上値重く
LMEニッケル相場は350ドル高の1万6,405ドルと上昇。在庫増やドル高もあり、上値の重い展開となった。

KLTM錠は休場

KLTM錠は、ハリケーン・ハーヴ(通称)のため、休場。

大阪・東海非鉄協同組合ゴルフコンペを開催 大阪地区がベルトを死守

大阪・東海地区の合計ゴルフコンペ(9月29日(日))に愛宕野ゴルフ倶楽部(大阪府茨木市)が優勝(1位)となり、開催された。

両地区からの団体が参加。開会式にあたり、保井健二青年部会長(大阪)が「本日は皆様、昨日のセミナーに引き続きゴルフも参加していただき誠にありがとうございます。本日は天候にも恵まれ素晴らしいプレーができることを期待しています。またこれからもこの上つながりで地域との交流が深めていくことを目指してまいります」と述べた。

続いて頭中華史企画運営委員長からホール説明が行われ、その後、順次の中、メンバーは和気藹々とプレーを楽しんだ。なお、昨日のセミナー(オシベル)は大阪地区が死守した。

結果は次の通り(数字は左から)。中・西・G・NEの順。(優勝:木暮喜夫氏(有限会社八尾アルミセンター)42・38・80・67.772位:六本木三氏(株式会社橋本金属商事)41・45・86・70.074位:タイ・鈴木重吉氏(鈴木金属株式会社)45・41・86・70.0。



橋本健一郎氏のアルミニウム9月レポート及び10月見通し



■概況: 前半はアルミニウムが2013年1月の545万トンから現在までに17%減の400万トンまで低下し、LMEアルミニウム相場も2300ドルを超過した1850ドルの高値を付けたところ、7月の米輸出実績は前月比+3.8%増加する予想の5%増加を上回ったこと、また政府中央銀行(FOMC)が予想外の円下げを実施し景気緩和を決定したことなどの好材料があったが、中国の改

月の製造業購買担当者景気指数(MMI)が前月51.1と民間50.2の西指標で9月から悪化したこと、中国の生産者物価指数(PPI)が前年比1.2%低下と予想の1.7%低下を下回ったこと、8月の中国CPIは前年比5.1%上昇と予想の2.9%上昇を下回ったこと、米連邦準備委員会議事録件数は231万件に増加し予想の190万件を上回った事から下落。9月15日時点1950ドル(現物後取買入)と月初価格から215ドル上昇での期初調整めどだった。

金が-26.2%の1154t、スクラップが+9.8%の1万693t、輸入は前年比で、新地金が+5.8%の15万636t、2次合金は+4.9%の9万1306t、メタップは+8.8%の1193t、合金スクラップは+3.3%の5713tとなつた。

■見通し: 自動車は生産が前月に続々減少の一歩、また8月の国内新規台数も前年比-2.8%と悪化。販売の減少が続きメーカーもそれに伴い生産を調整したが輸出はかかるヒビアでアメリカの更なる景気回復からの需要間に期待したい。

新設住宅着工数は前年比-14.1%、季節調整済年率換算で44.5万戸(前月比0.7%増)、消費税前の輸入込み需要も終了した6ヶ月連続減、ただ季節調整済換算では若干プラスであり今後の動向に期待。二次合金は自動車生産の減少を受け生

産、出荷とも相対からず減少、今後も大幅な需要は期待できないが大幅な悪化もない見解。アルミニウム・押出品は生産量で伸びるはよくないうちの伸びが止む恐れ、先づ輸出で増加しておりを強むこの傾向が続くと見解。輸出は新地金、スクラップは円安によって国内より高くなった品種がでて輸出量が増加、輸入は自動車を運転者の高止まりによっての慢性的な原料不足から全て増加。円安は当分続くと見ており上述の傾向は続くと見解。

■価格・為替予想: 今月は中国の景気回復及び香港デモへの対応に左右される。中国の標準鋼材指数は21日、豪ケアンズで開催された第2回・地域化20財務相・中央銀行総裁会議で中国はある1つの経済指標を理由に政策を大幅に変更することはないとの姿勢を示し中国人民銀行(中央銀行)は声明で明らかにしたことに反映されなど的小規模な対策はするが大規模な景気対策が行われる可能性は低い。香港デモに関しての予想は第二の天安門事件が起こる可能性もあり香港者が見せしめで逮捕されてトランクする可能性もある。ただし香港デモの度수가 100人過る可能性は低い。

それらを踏まえた10月のアルミニウムは、中国が大規模な財政出動などの景気対策を行い香港デモ線上野合が平和的につながる場合に8月高値の木シ一級高の2200ドルを予想。トランクの場合は2100ドル、下値はいずれの条件も達成できなかった場合にももう一級高の1900ドル。為替はECBが予想外に政策金利を引き下げたことや米国が景気回復によるドル買いから5月以上の大幅な円安に振れたもののこれ以上ECBが政策変更する可能性は低く、また米国の景気回復も考えにくい。年内・ヨーロッパでのドル高がFTMで、上値1280円高値の105円台、下値は変化なければ110円と予測。

メーカースクラップ購入価格は9~10円と予測。

品目	8月	9月	10月
新地金	18万600t	18万600t	18万600t
鋳物	+3.8%	+3.8%	+3.8%
二級合金	8万300t	8万300t	8万300t
新地金	+4.8%	+4.8%	+4.8%
スクラップ	100t	100t	100t
鋳物	+18.7%	+18.7%	+18.7%
合金スクラップ	400t	400t	400t
鋳物	+18.2%	+18.2%	+18.2%

アルミニウム輸出価格



アルミニウム輸入価格